

会 議 録

会議の名称		令和7年度第1回輝翔学園コミュニティ・スクール推進会議		
開催日時		令和7年6月6日（金）開会 14:30 閉会 15:45		
開催場所		つくば市立谷田部中学校研修室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	木村 英博、吉波 麻理、飯島 太郎 小川 保、柳田 愛子 丸山 美智子、大久保 良文、宮本 学 谷田部中学校：校長 本藤 知宏、教頭 浅野 義明 教務主任 森泉 友 谷田部小学校：校長 塚本 明、教頭 戸塚 雅子 教頭 石綿 孝一郎、教務主任 菅谷 朋子 柳橋小学校：校長 塚崎 浩子、教頭 小松崎 美重 教務主任 横山 康治		
	その他			
	事務局	教育局 次長：柳町 優子 教育局生涯学習推進課 課長：澤頭 由紀子 教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 福田 綾子		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「地域・保護者・学校で育みたい児童生徒像について」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次	1 開会 2 選任通知書の交付及び委嘱状の交付 3 挨拶 4 つくば市コミュニティ・スクールについて			

第	5	座長・副座長の選出
	6	協議 (1) 学校運営の基本方針について (学校の教育活動の紹介含む) (2) 熟議「地域・保護者・学校で育みたい児童生徒像について」
	7	その他 ・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について
	8	閉会

<p><審議内容></p> <p>司会：澤頭課長</p> <p>1 開会</p> <p>2 選任通知書及び委嘱状の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柳町次長より飯島委員への選任通知書交付 ・ 同 宮本委員、大野委員（欠席）、吉波委員への委嘱状交付 <p>3 挨拶</p> <p>教育長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育長挨拶代読（柳町次長） <p>委員自己紹介</p> <p>4 つくば市コミュニティ・スクールについて</p> <p>村上社教主事より説明</p> <p>6/24 研修会案内</p> <p>5 座長・副座長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 座長 飯島委員、副座長 吉波委員（拍手） <p>6 (1) 学校運営の基本方針について (学校の教育活動の紹介含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グランドデザイン説明 各校校長より 【輝翔学園】（本藤校長）時代に合わせて地域、保護者とともに変えていく（5～10年で変える）地域・子どもたちにあったグランドデザインに今後変えていく そのための熟議を どんな子どもたちを育てていくのか考えていきたい 【谷田部小】（塚本校長）令和6年度 150周年終了。子どもファースト。信頼でつながる。 【柳橋小】（塚崎校長）令和7年度 改訂 地域の言葉を入れてさらに改訂予定、一人一人が集中した探究できるもの、問いから始まる授業、安心安全対策 次年度150周年記念 【谷田部中】（本藤校長）輝翔学園＝谷田部中グランドデザイン 対話を通じた取組（主体的対話的深い学び⇒まとめの時期）、GIGA 端末100+、教職員の組織目標、人と人との対話（×会話）、教師がさらに研修をしたい <p>⇒（拍手）承認</p> <p>(2) 【熟議】「地域・保護者・学校で育みたい児童生徒像について」</p>	
--	--

①学校ごとに話し合う。(模造紙に分類・まとめる)

15分アイデアを出し合う、話し合い後、発表

②2分程度で意見共有

- ・(谷田部小) 谷田部が好き・学校が好き・自分が好き、あいさつ。感謝、他人との関わり、友達と優しくできる。好きなことが見つけられる。チャレンジできる たくましさ 根性がある 自分の意見が言える。将来谷田部に帰って来てほしい。
- ・(柳橋小) 未来を意識した子どもたちになってほしい。地域に戻ってくる子ども(地域愛をもった子ども)地域で子ども同士あいさつができる。他者に敬意をもつ。食に興味をもつ子ども。自分の良さを伸ばす。他の人との理解を図ることができる子ども。学校と地域が協力してやっていきたい。
- ・(谷田部中) 明るく・元気・素直、あいさつ コミュニケーション 自立 地域を大切にできる。

・CS 予算について説明(各校教頭から)

講師 榎旋 「お金」についての講演 中学生向け(令和6年度 8年で実施、継続)

草刈り

一年間通して、子どものためになるためのものの提案をお願いしたい。

近隣住民からの苦情対応⇒性教育等の必要性

・質疑応答

⇒なし

7 その他

開催予定: 第2回 谷田部小 11月21日(金) 10:00

第3回 柳橋小 2月20日(金) 10:00

8 閉会

本日の会議の様子や写真はつくば市教育委員会ホームページ掲載予定。

令和7年度第1回輝翔学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和7年6月6日（金）

14：30～

場所：谷田部中学校 研修室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付及び委嘱状の交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクールについて

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について（学校の教育活動の紹介含む）

(2) 熟議

テーマ「地域・保護者・学校で育みたい児童生徒像について」

7 そ の 他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

8 閉 会

令和7年度 輝翔学園コミュニティ・スクール推進会議
 (第1回: 6月6日 金曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	所属・役職
1	(4) 学識経験者	島田 常	元校長
2	(2) 児童・生徒の保護者	木村 英博	PTA会長
3	(3) 地域学校協働活動推進員	吉波 麻理	生徒保護者
4	(1) 地域住民	飯島 太郎	元学校評議員
5	(5) 各学校長	本藤 知宏	校長
6	(6) 教職員	浅野 義明	教頭
7	(6) 教職員	森泉 友	教務主任
8	(3) 地域学校協働活動推進員	大野 尚子	PTA会長
9	(1) 地域住民	小川 保	元学校評議員
10	(2) 児童・生徒の保護者	柳田 愛子	PTA本部役員
11	(5) 各学校長	塚崎 浩子	校長
12	(6) 教職員	小松崎 美重	教頭
13	(6) 教職員	横山 康治	教務主任
14	(1) 地域住民	丸山 美智子	元学校評議員
15	(1) 地域住民	大久保 良文	元学校評議員
16	(2) 児童・生徒の保護者	錦織 かおる	PTA会長(新)
17	(3) 地域学校協働活動推進員	宮本 学	元学校評議員
18	(5) 各学校長	塚本 明	校長
19	(6) 教職員	戸塚 雅子	教頭
20	(6) 教職員	石綿 孝一郎	教頭
21	(6) 教職員	菅谷 朋子	教務主任
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

つくば市が目指す学園・学校像
みんなが幸せを実感できる学園・学校

コミュニケーション力

協働力
 (コラボレーション力)

表現力
 (プレゼンテーション力)

	確かな学力を育む教育	豊かな心を育む教育	健やかな体を育む教育
目指す児童生徒像	学び続ける児童生徒	<つくばスタイル科> つくばの未来を担い、世界で活躍する児童生徒	豊かな心をもって他者と関われる児童生徒
	自分の夢の達成に向けて必要な力を分析し、その習得に向けて計画的に挑戦し続けることができる児童生徒	グローバルな視点をもって自らの力で問題を解決し、変化する社会の中で、よりよく生きていこうと努力する児童生徒	思いやりの心、生命や人権を尊重する心、自然や美しいものに感動する心、正義感や公正さを重んじる心等豊かな人間力と社会力を備えた児童生徒
9年生・8年生	課題を見つけ、多方面から考える児童生徒	課題を解決する中で、自らの力を高める児童生徒	友達よさを見つけ、互いに助け合う児童生徒
	自ら課題を見つけ課題解決する力の育成を図ることができる。自分の夢の実現に向け、自ら目標を立て、課題解決のために挑戦し続けることができる。	未来に向けて、自分たちでできることを考え、発信し、地域社会の一員として行動できる。 働く意義や職業の社会的役割を考慮することができる。	一人の人間として社会に貢献し自らの生き方を考えることができる。 社会や地球環境を考えながら自分の生活を問い直し、社会の一員としての意識をもつことができる。
7年生・5年生	◎問題解決のため、客観的思考力を身に付ける。	◎相手の立場を考えて行動する。	◎自己責任において、将来の生き方を選択する。
	体験と理論の往復による概念や方法の獲得、討論、観察、実験による思考により、論理的思考力の育成を図ることができる。	自然と環境について、自分たちの考えを深めることができる。自分のよさや目指す生き方を考えることができる。地域のよさを知り、自分のできることを考えることができる。	体験を通して自己を振り返りながら社会に参加していくことができる。生き物や人間の暮らしの関わりを地球規模で見つめることができる。身近な人々と関わり合い、仕事や将来への夢を考えることができる。
4年生・1年生	◎課題や疑問を、資料収集や体験活動を通して調べる。	◎自分や友達よさを見つけ生かして、よりよい生き方を考える。	◎集団の一員としての役割を果たす。
	学習規律や基礎的・基本的な知識や技能を繰り返し学習し、習熟を図ることができる。 体験的な活動や具体物を活用した思考力や理解力を高め、反復学習による「読み、書き、計算」の能力の育成を図ることができる。	人と環境との関わりを考え、自分なりの考えをもつことができる。 他者との関わりを通して自分たちの姿をとらえることができる。	集団生活を通して、人と関わるための基礎を身に付けることができる。 自然と関わりながら、そのすばらしさに気付くことができる。 学級や学校の友達と仲間づくりができる。
	◎興味・関心をもって、学習に取り組む。	◎友達と協力して考えたことをまとめ行動する。	◎自分に与えられた仕事に責任をもって果たす。

輝翔学園



<小中一貫型小学校・中学校>

教育目標

互いに協働することを通して、主体的な学びを実現する児童生徒の育成



Kisho Spirits 2025

輝翔学園では、一人一人が幸せな人生を送れるようにすることを目指して、これからの社会を生き抜いていくために必要な資質・能力を育てていく。

- 1 仲間と協力し合うこと
- 2 他者に対する感謝の念を忘れないこと
- 3 素直な気持ちで耳を傾けること
- 4 自ら考えプラス思考で努力すること

「非認知能力を再認識し、全人教育へ」

「集団づくり」を通して育てたい力

- 【コミュニケーション力】多様な人々とよき関係をつくり、まわりの人と積極的に関わろうとする意欲や行動力
- 【協働力 (コラボレーション力)】互いの不足を補い合い、よさを生かし合って課題を解決していく力
- 【表現力 (プレゼンテーション力)】主観を交えず、誰もが納得できるように、筋道を立てて多面的に考えを進める力

谷田部小学校



柳橋小学校



谷田部中学校



<事務局 (谷田部中学校内)>

〒305-0861 茨城県つくば市谷田部6100番地 TEL 029-836-0008 FAX 029-836-3726

E-mail : yaj01@tkb.ed.jp URL : http://www.tsukuba.ed.jp/~kishou/

＜保幼小連携＞

幼児教育におけるアプローチカリキュラムと小学校入学時のスタートカリキュラムにより、子どもたちの「学び」をつなぎ、子どもたちの力が十分に発揮されるようにしていく。

＜アプローチカリキュラム(幼児期)＞

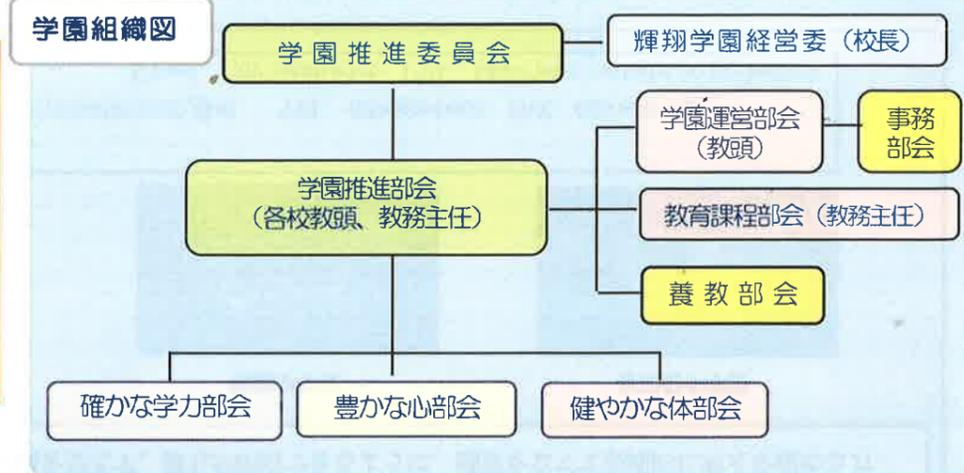
健康な心と体/自立心/協同性/道徳性・規範意識の芽生え/社会生活との関わり/思考力の芽生え/自然との関わり・生命尊重/数量や図形・標識や文字などへの関心・感覚/言葉による伝え合い/豊かな感性と表現



＜スタートカリキュラム(児童期)＞

安心・成長・自立

※令和7年度県学校教育指導方針「幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けて」



学園研修会



授業公開 (つくばスタイル科)



輝翔学園リーダー研修会



地域防災会議

1. 確かな学力を育む教育部会 「教えから学びへ」

- (1) 「教え」から「学び」の授業実践
- (2) 学習指導方法の統一の徹底
- (3) 学力診断テスト等の分析と弱点の補充学習
- (4) 小中合同研修会による「学習の手引き」の見直し
- (5) 若手教員研修会
- (6) つくばスタイル科における21世紀型能力の育成
「教科横断的学びの展開/他者・地域への学びの発信」

- ・ 学園研修会
- ・ 小中授業公開
- ・ 全体研修会 (講演会)
- ・ 学力診断テスト分析
- ・ 市プレゼンテーション・コンテスト

2. 豊かな心を育む教育部会 「管理から自己決定へ」

- (1) 小中合同あいさつ運動
- (2) 輝翔学園小中合同リーダー研修会の実施
- (3) 小中合同地域ボランティア清掃の実施
- (4) 生命を大切にしている指導の充実
- (5) 生徒指導の共通化・学園の7つの約束の設定
- (6) 生活の能力を9年間の中に計画的に配置

- ・ 生徒指導情報交換、チーム支援
- ・ 児童会・生徒会合同研修会
- ・ 「豊かな心育成事業」共同開催
- ・ 生徒指導小中合同研修会
- ・ 道徳授業参観・研修
- ・ 特別支援教育情報交換会
- ・ 児童生徒が考える生活ルール作り

3. 健やかな体を育む教育部会

- (1) 小中合同安全教育・避難訓練等の実施
- (2) 地域と連携した安全教育の実施
- (3) 体育的行事の連携
- (4) 小小・小中で連携した食育の機会の提供

- ・ 小中合同地域防災訓練
- ・ AED研修会
- ・ 輝翔学園地域防災会議
- ・ 栄養教諭による食育指導



合同新規採用者研修会



放課後谷田部塾



小中合同あいさつ運動



栄養教諭による食育指導

9年間を見通した
教育活動！

感動・夢・挑戦 ~Moving Ahead~

令和7年度 輝翔学園つくば市立谷田部中学校グランドデザイン

◆ 本県教育の目標 ◆

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

◆ 本学園の目標 ◆

互いに協働することを通して、
主体的な学びを実現する
児童生徒の育成

◆ 市学校教育の目標 ◆

みんなが幸せを実感できる学園・学校
・自己実現できる生徒
・みんなが支え合い、
みんなが生き生きとした学校
「教えから学びへ」

◆ 本校教育の目標 ◆

今をひたむきに たくましく生きる生徒の育成 ～ 感動・夢・挑戦 ～

◇ 経営哲学 ◇

○自他の幸せを目指して働く学校（職場）づくり
○一人ひとりが個性や能力を発揮し、認め合い、高め合い、補い合い、気持ちよく活動できる学校（職場）づくり

◇ 組織目標 ◇

・対話を通して、分かる・できる・やった（取り組んだ）喜びを味わう生徒の育成
・GIGATAN100+（協働的な学び、対話的で深い学びの実践）
・働き方改革Under40「40h/m、300h/y」

◇ 目指す生徒像 ◇

★互いの幸せを考え、進んで行動できる生徒
★主体的に学び、自ら判断し行動できる生徒
★互いに認め合い、よりよい人間関係を築く生徒
★何事にも前向きに粘り強く取り組む生徒
★仲間と協力し課題解決や新たな創造に取り組む生徒
★自分と他者の命を大切にし、思いやりのある生徒
★周囲の人や地域に感謝の気持ちをもつ生徒

◇ 目指す教師像 ◇

★一人一人の幸せのために働ける教師
★あたたかく人間性豊かな教師
★健康で活力に満ちた教師
★よりよい指導を求め、成長できる教師
★チームを意識し、貢献できる教師
★見通しをもち、役割を全うできる教師

◇ 研究のテーマとねらい ◇

「主体的に学び、多様性を認め、協働して課題を解決する生徒の育成」

・授業や生活、学校行事等さまざまな場面において、互いの違いを理解しながら主体的、協働的に課題解決に取り組む生徒を育成する。学校の全ての教育活動を通して、下に示した資質・能力を育成する。

確かな学力

・これからの時代を切り拓く生徒に身に付けさせたい資質・能力
○生きて働く知識・技能
○思考力・判断力・表現力等
○学びに向かう力、人間性
★詳細は学力向上プラン

豊かな心

・自他を幸福にする感謝と思いやりの心
・自分の命と他者の命を大切にすること
・目標を目指して粘り強く取り組む態度
・主体的に判断し責任をもって行動する態度
★心の教育全体計画

健やかな体

・生涯にわたって、自分の健康を管理し改善していく力
・安全安心を意識し、危険回避ができる力
・食に関心をもち自己管理していく力
★保健・安全全体計画

コミュニケーション力

・多様な価値を認め、人と心を通わせ、よい関係をつくらうとする意欲や行動力

協働（コラボ）力

・互いのよさを生かし、協力して課題を解決していく力
・互いの考えや立場を尊重した課題解決に向けた対話力

表現（プレゼン）力

・自分の思いや考えをもち、誰もが納得できるように筋道を立てて表現できる力

- 「教えから学びへ」(指導方針)を受けた授業改善
- SSLによる不登校生徒へのきめ細かな対応
- 自己肯定感、自己有用感を育む学年、学級経営
- 教育活動全体で推進するいじめ防止意識の醸成
- 管理から自己決定への指導意識の転換

- ICT教育(タブレット)の充実と情報活用能力の育成
- 全教育場面で醸成する思いやりと生命尊重の精神
- 通常学級での指導も含めた特別支援教育の充実
- 専門家を活用した保健・安全、健康教育

< 当面する課題 >

・学習に対して受け身的である。自己肯定感が低い。・話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることが苦手である。
・働き方改革の推進(業務の整理、意識改革) ・コミュニティ・スクールの設置、推進 ・部活動地域展開の推進

令和7年度 輝翔学園つくば市立谷田部小学校グランドデザイン





☆茨城県の教育目標☆
一人一人の能力を開発し
豊かな人間性を養う
・ じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
・ 郷土を愛し 協力しあう
心を育てる

☆輝翔学園の教育目標☆
互いに協働することを通して、主体的な学びを実現する
児童生徒の育成
コミュニケーション力・協働(コラボレーション)力・
表現(プレゼンテーション)力の育成

☆つくば市の教育目標☆
みんなが幸せを実感できる
学園・学校
・ 教えから学びへ
・ 管理から自己決定へ
・ 認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

☆本校教育の目標☆
広い視野と豊かな感性をもち
たくましく生きる児童の育成

めざす児童の姿

や・ ・ 優しい心をもち、優しさを広げる
ぎ・ ・ 疑問をもち、解決方法を考える
は・ ・ 話 周りの人の話をよく聞き、
自分の考えを話す
し・ ・ 自分を大切にする
自信をもって自分のよさを伸ばす

めざす教師の姿

・ 元気で、自分と周りの人の幸せを追求している(し)
・ 子どもに寄り添い、子どものよさと探究心を伸ばそうとする(や)(ぎ)(は)(し)
・ 温かい心をもち、居心地のよい職場と学校をつくろうとする(や)(は)
・ 組織のために仲間と協働し、お互いのよさを認め、伸ばそうとする(ぎ)(は)(し)
・ 自分のよさと専門性を追究し、挑戦している(ぎ)(し)

◆組織目標◆

- 1 問いを立て、協働と自己決定をしながら、自己理解・探究を深める児童の育成
- 2 さまざまな人とつながり、よさを認め合い、所属感や満足感を味わうことができる集団の育成

学校経営の重点

- 1 自他のよさを認め合うことができる学級・ブロック・異学年集団づくり
 - ・ 温かい人間関係づくり・よさを認め合う気持ち、自己有用感の醸成
 - ・ 友達の考えを聞き、発言をつなぐ児童同士の**ファシリテート力**の育成
 - ・ **非認知能力の育成**
モジュールを活用した**自分を見つめる時間・なりたい自分を描く時間(自己調整時間・自己決定時間)**の設定
 - ・ 縦割り班や委員会、学級で行う児童主体企画活動、リーダー経験、自己決定の実践
- 2 児童の「問い」からスタートする探究学習・体験学習・協働学習の推進
 - ・ **児童から生まれる問い**の解決となる授業づくり、協働で作る指導案での一人一研究授業
 - ・ 異学年の対話を重視した共同学習の実施(つくばスタイル科・生活科の「柳橋プラン」「よさ伸ばし時間」)
 - ・ 知識・技能定着と問いの追究、自己調整、自己形成のためのモジュール時間の活用
 - ・ 教師の**ファシリテート力**の向上(ファシリテートする授業をつくる深い教材研究)
 - ・ 協働場面で深い理解につながる ICT 活用の研究
 - ・ **児童発信**の地域人材・専門家の助言、様々な体験活動、出前授業
 - ・ **いつも読みかけの本**を持つ読書指導と家庭学習の個別化
- 3 安全安心な学校づくり
 - 安全な生活基盤の構築(いじめ・不登校防止のための取組の推進)
 - ・ 定期的なアンケートと教育相談、**職員の情報共有による早期の組織的な対応、SOSのだせる環境**
 - ・ 児童主体の「いじめゼロ集会」と継続的な学級・集団での指導
 - 健康・安全に関する自己管理能力・危機回避能力の育成
毎日の下校集会での安全啓発・計画的な避難訓練、防災教育・養護教諭・栄養教諭による計画的な保健指導・食の指導、外遊びの奨励・体育授業の工夫による体力の向上
- 4 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ・ 研修の実施による共通理解(ユニバーサル・デザインの授業と合理的配慮の充実)
 - ・ **チームによる計画的・組織的・継続的支援**
(県や市の関係諸機関、SC、SSW・保健室・Sルーム・わくわくゆったりルーム等との連携)

合言葉は、やぎはし

◆研究テーマ◆
主体的に学び、「なぜ」を解決し、
対話を通して探究する児童の育成

☆小中一貫・YMK(P)の推進
・ ねらいを定めた児童の小中、
小小交流・職員の研修交流
・ 輝翔学園リーダー研修会
・ 幼児教育との接続の強化(教師・児童の交流)

☆地域・社会とのつながり
・ 地域PTAとの信頼関係の維持構築
・ コミュニティスクール推進委員会の
立ち上げ、活動の充実
・ 柳橋ボランティアの拡充
・ 各種通信・HP等による情報発信

☆教員の資質向上と働き方改革の推進
・ OJTによる組織的体制
・ 職員のよさを広め、焦点を絞った必要感のある校内研修の工夫
・ 学校組織マネジメントによる教材研究時間の確保

令和7年度 輝翔学園つくば市立谷田部中学校グランドデザイン

◆ 本県教育の目標 ◆

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

◆ 本学園の目標 ◆

互いに協働することを通して、
主体的な学びを実現する
児童生徒の育成

◆ 市学校教育の目標 ◆

みんなが幸せを実感できる学園・学校
・自己実現できる生徒
・みんなが支え合い、
みんなが生き生きとした学校
「教えから学びへ」

◆ 本校教育の目標 ◆

今をひたむきに たくましく生きる生徒の育成 ～ 感動・夢・挑戦 ～

◇ 経営哲学 ◇

○自他の幸せを目指して働く学校（職場）づくり
○一人ひとりが個性や能力を発揮し、認め合い、高め
合い、補い合い、気持ちよく活動できる学校（職場）
づくり

◇ 組織目標 ◇

・対話を通して、分かる・できる・やった（取り組ん
だ）喜びを味わう生徒の育成
・GIGATAN100+（協働的な学び、対話的で深い学びの実践）
・働き方改革Under40「40h/m、300h/y」

◇ 目指す生徒像 ◇

★互いの幸せを考え、進んで行動できる生徒
・主体的に学び、自ら判断し行動できる生徒
・互いに認め合い、よりよい人間関係を築く生徒
・何事にも前向きに粘り強く取り組む生徒
・仲間と協力し課題解決や新たな創造に取り組む生徒
・自分と他者の命を大切にし、思いやりのある生徒
・周囲の人や地域に感謝の気持ちをもつ生徒

◇ 目指す教師像 ◇

★一人一人の幸せのために働ける教師
・あたたかく人間性豊かな教師
・健康で活力に満ちた教師
・よりよい指導を求め、成長できる教師
・チームを意識し、貢献できる教師
・見通しをもち、役割を全うできる教師

◇ 研究のテーマとねらい ◇

「主体的に学び、多様性を認め、協働して課題を解決する生徒の育成」

・授業や生活、学校行事等さまざまな場面において、互いの違いを理解しながら主体的、協働的に課題解決に取り組む生徒を育成する。学校の全ての教育活動を通して、下に示した資質・能力を育成する。

確かな学力

・これからの時代を切り拓く生徒
に身に付けさせたい資質・能力
○生きて働く知識・技能
○思考力・判断力・表現力等
○学びに向かう力、人間性
★詳細は学校改善プラン

豊かな心

・自他を幸福にする感謝と思いやりの心
・自分の命と他者の命を大切にする心
・目標を目指して粘り強く取り組む態度
・主体的に判断し責任をもって行動する
態度 ★心の教育全体計画

健やかな体

・生涯にわたって、自分の健康
を管理し改善していく力
・安全安心を意識し、危険回避が
できる力
・食に関心をもち自己管理して
いく力 ★保健・安全全体計画

コミュニケーション力

・多様な価値を認め、人と心を通
わせ、よい関係をつくらうとす
る意欲や行動力

協働（コラボ）力

・互いのよさを生かし、協力して課題を
解決していく力
・互いの考えや立場を尊重した課題解
決に向けた対話力

表現（プレゼン）力

・自分の思いや考えをもち、誰
もが納得できるように筋道を
立てて表現できる力

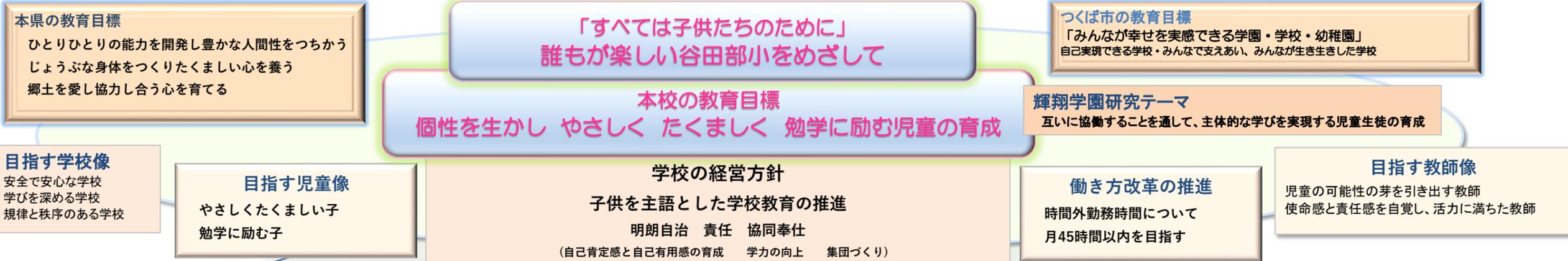
●「教えから学びへ」(指導方針)を受けた授業改善
●SSLによる不登校生徒へのきめ細かな対応
●自己肯定感、自己有用感を育む学年、学級経営
●教育活動全体で推進するいじめ防止意識の醸成
●管理から自己決定への指導意識の転換

●ICT教育(タブレット)の充実と情報活用能力の育成
●全教育場面で醸成する思いやりと生命尊重の精神
●通常学級での指導も含めた特別支援教育の充実
●専門家を活用した保健・安全、健康教育

< 当面する課題 >

・学習に対して受け身的である。自己肯定感が低い。・話し合い活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることが苦手である。
・働き方改革の推進(業務の整理、意識改革) ・コミュニティ・スクールの設置、推進 ・部活動地域展開の推進

令和7年度 輝翔学園つくば市立谷田部小学校グランドデザイン



今年度の組織目標
主体的に学び、自分の思いや考えを言語活動を通して表現できる児童の育成
互いのよさを認め合い、自他を大切にできる児童の育成

やさしい子の育成
「心」づくり「居場所づくり」
自己肯定感 自己有用感 温もりのある関係 協働

「管理」から「自己決定」へ
「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ
温もりのある学級づくり

- ・いじめを許さない学年学級風土の醸成
- ・学級活動を基盤とした自己肯定感・自己有用感の育成
- ・合意形成、意思決定を大切に学級活動
- ・道徳教育の充実「考え・議論する道徳」への質的転換
- ・委員会、係活動での創意工夫（一人一役で自己有用感を高める）
- ・教育相談の充実
- ・協働のよさを味わい、認められる機会がある充実した授業づくり

豊かな体験活動～地域、学園の一員として～

- ・児童主体の集会活動
(創立151年目「新たな出発」をテーマとした様々な集会活動)
- ・コミュニケーションスキルの獲得
- ・学園としての取り組み（あいさつ運動 地域清掃ボランティア）
- ・縦割り活動（通学班 ふれあいたいむ）

いじめ防止運動の実践（代表委員）

- ・各種啓発活動
- ・いじめ防止集会

誰もが安心できる居場所づくり

- ・校内フリースクール

たくましい子の育成
基本的な生活習慣
強い心と体 規範意識 健康な体づくり 危機管理意識

「管理」から「自己決定」へ
基本的な生活習慣と規範意識の確立

- ・谷小のよい子 輝翔学園7つのやくそくの活用
Y'sスタイルの奨励（5、6年生）
- ・「あいさつ・時間を守る・そうじ」の実践

健康な体 体力向上

- ・運動量を確保した体育授業の実践
- ・体力テストの結果を生かした体力作りの実践
- ・外遊びの奨励 ロング昼休みの活用

保健・安全教育の推進

- ・養護教諭や栄養教諭、民間企業との連携による授業の充実
- ・食に関する指導や給食指導を通して自己管理能力を育成
- ・発達段階に応じた性に関する指導
- ・学校保健委員会を中心とした保護者との連携

安全への意識を高める指導～地域や自治体、民間企業との連携～

- ・各種教室の実施
交通安全教室 避難訓練（防災・火災・防犯）
情報モラル講演会 薬物乱用防止教室

勉学に励む子の育成
探究する学び
試行錯誤しながら探究し、確かな学力を培う授業

「教え」から「学び」へ… 探究的な学びの推進
主体的・対話的で深い学びを促す授業の展開

- ・ワクワクする課題提示
- ・問いからはじまる学びの推進
- ・付けたい力を明確にした言語活動の位置付け
- ・根拠や理由を示した言語活動の実践
- ・身に付けた力を自覚できる振り返りの時間の確保
- ・一人一台端末と電子黒板の連動を取り入れたICTの利活用
- ・カリキュラムマネジメントの推進

学力保障

- ・少人数指導 T・Tによる指導 ユニバーサル化の推進
- ・基礎、基本の定着

授業改善

- ・授業改善プランを意識し、RPDCAサイクルによる検証

家庭学習の習慣化

- ・家庭と連携した家庭学習の推進「家庭学習のすすめ」
「家庭学習がんばりカード」「家庭学習強化週間」

小中一貫教育の充実発展

- ・教科担任制、専科教員による専門的な指導
- ・つくばスタイル科の推進【In/About/For】

学校が楽しい児童90%以上
自分のよいところ分かる児童85%以上
友達のよいところを認める児童85%以上

あいさつができる児童80%以上
体力テストA+B 50%以上
校内事故の前年度比較減少

授業がわかると感じる児童85%以上
対話的な学びで考えを深めている児童80%以上
分からないことを聴ける児童90%以上

信頼される開かれた学校づくり

地域の教育資源・人材の活用

○教育活動に関する情報発信（ホームページ・オープンスクール・各種だより）
○教育活動の外部評価の実施と積極的な公表

○ゲストティーチャー・ボランティア
○交通安全指導協力
○授業支援

地域や保護者の理解と協力、連携、協働 学園での取り組み アセスメントに基づくRPDCAサイクル スキルアップ・資質向上のため



☆茨城県の教育目標☆
一人一人の能力を開発し
豊かな人間性を養う
・ じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
・ 郷土を愛し 協力しあう
心を育てる

☆輝翔学園の教育目標☆
互いに協働することを通して、主体的な学びを実現する
児童生徒の育成
コミュニケーション力・協働(コラボレーション)力・
表現(プレゼンテーション)力の育成

☆つくば市の教育目標☆
みんなが幸せを実感できる
学園・学校
・ 教えから学びへ
・ 管理から自己決定へ
・ 認知能力偏重から
非認知能力の再認識へ

☆本校教育の目標☆
広い視野と豊かな感性をもち
たくましく生きる児童の育成

めざす児童の姿

や・ ・ 優しい心をもち、優しさを広げる
ぎ・ ・ 疑問をもち、解決方法を考える
は・ ・ 話 周りの人の話をよく聞き、
自分の考えを話す
し・ ・ 自分を大切にする
自信をもって自分のよさを伸ばす

めざす教師の姿

・ 元気で、自分と周りの人の幸せを追求している(し)
・ 子どもに寄り添い、子どものよさと探究心を伸ばそうとする(や)(ぎ)(は)(し)
・ 温かい心をもち、居心地のよい職場と学校をつくらうとする(や)(は)
・ 組織のために仲間と協働し、お互いのよさを認め、伸ばそうとする(ぎ)(は)(し)
・ 自分のよさと専門性を追究し、挑戦している(ぎ)(し)

◆組織目標◆

- 1 問いを立て、協働と自己決定をしながら、自己理解・探究を深める児童の育成
- 2 さまざまな人とつながり、よさを認め合い、所属感や満足感を味わうことができる集団の育成

学校経営の重点

- 1 自他のよさを認め合うことができる学級・ブロック・異学年集団づくり
 - ・ 温かい人間関係づくり・よさを認め合う気持ち、自己有用感の醸成
 - ・ 友達の考えを聞き、発言をつなぐ児童同士の**ファシリテート力**の育成
 - ・ **非認知能力の育成**
モジュールを活用した**自分を見つめる時間・なりたい自分を描く時間(自己調整時間・自己決定時間)**の設定
 - ・ 縦割り班や委員会、学級で行う児童主体企画活動、リーダー経験、自己決定の実践
- 2 児童の「問い」からスタートする探究学習・体験学習・協働学習の推進
 - ・ **児童から生まれる問い**の解決となる授業づくり、協働で作る指導案での一人一研究授業
 - ・ 異学年の対話を重視した共同学習の実施(つくばスタイル科・生活科の「柳橋プラン」「よさ伸ばし時間」)
 - ・ 知識・技能定着と問いの追究、自己調整、自己形成のためのモジュール時間の活用
 - ・ 教師の**ファシリテート力**の向上(ファシリテートする授業をつくる深い教材研究)
 - ・ 協働場面で深い理解につながる ICT 活用の研究
 - ・ **児童発信**の地域人材・専門家の助言、様々な体験活動、出前授業
 - ・ **いつも読みかけの本**を持つ読書指導と家庭学習の個別化
- 3 安全安心な学校づくり
 - 安全な生活基盤の構築(いじめ・不登校防止のための取組の推進)
 - ・ 定期的なアンケートと教育相談、**職員の情報共有による早期の組織的な対応、SOS のだせる環境**
 - ・ 児童主体の「いじめゼロ集会」と継続的な学級・集団での指導
 - 健康・安全に関する自己管理能力・危機回避能力の育成
毎日の下校集会での安全啓発・計画的な避難訓練、防災教育・養護教諭・栄養教諭による計画的な保健指導・食の指導、外遊びの奨励・体育授業の工夫による体力の向上
- 4 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ・ 研修の実施による共通理解(ユニバーサル・デザインの授業と合理的配慮の充実)
 - ・ **チームによる計画的・組織的・継続的支援**
(県や市の関係諸機関、SC、SSW・保健室・Sルーム・わくわくゆったりルーム等との連携)

合言葉は、やぎはし

◆研究テーマ◆
主体的に学び、「なぜ」を解決し、
対話を通して探究する児童の育成

☆小中一貫・YMK(P)の推進
・ ねらいを定めた児童の小中、
小小交流・職員の研修交流
・ 輝翔学園リーダー研修会
・ 幼児教育との接続の強化(教師・児童の交流)

☆地域・社会とのつながり
・ 地域PTAとの信頼関係の維持構築
・ コミュニティスクール推進委員会の
立ち上げ、活動の充実
・ 柳橋ボランティアの拡充
・ 各種通信・HP等による情報発信

☆教員の資質向上と働き方改革の推進
・ OJTによる組織的体制
・ 職員のよさを広め、焦点を絞った必要感のある校内研修の工夫
・ 学校組織マネジメントによる教材研究時間の確保